

林業再生にかける

日南の地にもようやく桜の花が満開に咲きほころびました。町内でも満開の時期が一週間以上もずれるのは、地域が広く標高差があるからで、それだけ自然を長く楽しむことができます。

今年の石霞溪のマンサク（タニイソギ）の花はどうとう見ることができませんでしたでしたが、白いこぶしの花は咲きました。どんな年になるのでしょうか。

東日本大震災から一年以上が経過し、復旧復興が思うように進まないのは、ひとつには、福島原発の事故によるものかと…これまで原子力発電によって電力が維持され電気料金が安定してきたのも事実です。不安と犠牲が現実の姿となっています。

かつて、山の木を家庭の燃料とし、炭を焼き所得の糧としていた時代から、やがて石炭や石油、原子力エネルギーに変わり、せっせと植えた木も外材によって木材の価額は低迷し続けました。この事故を教訓として効率性の追求を見直し、再考するよい機会ではないでしょうか。

日南町は町の9割を山林が占め、杉、ひのきを中心に6割の人工造林、戦後せっせと植えた杉、ひのきが平均50年となり、地域資源である林業による産業起こしが最も地域経済に貢献するものと、平成17年に国の構造改革特区・地域再生計画の認定を受けて、新しい森林、林業の地域再生として、木材加工会社が立ち上がりました。この結果、木材需要と雇用創出が実現しました。

山から出荷される材は3万m³から9万m³の三倍に増加、やがて年間10万m³の杉、ひのき材が山から木材団地に集まろうとしています。しかし、まだ山には残された材がたくさん放置されています。これを何とか有効活用できないものか。そしてこの未利用資源をバイオマスエネルギーとして活用できないか、さらに一步進めなければなりません。それには収集、運搬コストの面で現状では無理です。施策的な助成支援等によって現にこれを実行している地方自治体があることを考えると不可能ではないと思います。

わが町でも製材工場から出た残材や建設廃材等を利用してチップやボイラー燃料として利用されています。今後間伐作業などで発生する残材を利用する積極的な取り組みが求められるところです。この度、町は率先して「再生可能エネルギー促進条例」を制定しました。雇用の面からも期待したいところです。日南町は森林資源に恵まれています。エネルギーとして見直しされるこの森林資源を活用することが、町の再生につながると確信します。

かつて、農業と林業で生活してきた当地域は、再び農林業が地域再生の道になると夢をふくらませているところです。先月の新聞（日本海）に「境港市立第二中学校が、日南町阿毘縁にある市有林の木を内装に使う」との記事がありました。当時中学生だった子供たちの植えた木が地元境港の学校で有効活用できることは大きな喜びではないかと思えます。

林業再生はこれからの地域再生の可能性の柱となるものと、私たちNPO法人では植林作業体験や森林塾等々地道な活動を続けてまいります。

NPO法人フォレストアカデミージャパン

NPO法人フォレストアカデミージャパンについて

森林・林業・木材産業に携わる私たちは、生産事業の支援、保続可能な林業への再生、循環型社会の構築に向けて提言と作業を続けるとともに豊富な森林資源の開発・利活用をすすめ、さらに地域の活性化に貢献しようと、NPO法人を立ち上げたものです。

設立年月日 平成22年10月5日

ホームページ <http://www.chukai.ne.jp/~npo-forest-a-j/>

メールアドレス npo-forest-a-j@sea.chukai.ne.jp

電話 0859-82-1788 FAX 050-5205-5371

日南の森林資源を育てる会議

日南町役場
日南町森林組合
株式会社 オロチ
NPO法人フォレストアカデミージャパン

発行責任者 NPO法人フォレストアカデミージャパン
鳥取県日野郡日南町下石見1843-1
TEL 0859-82-1788